

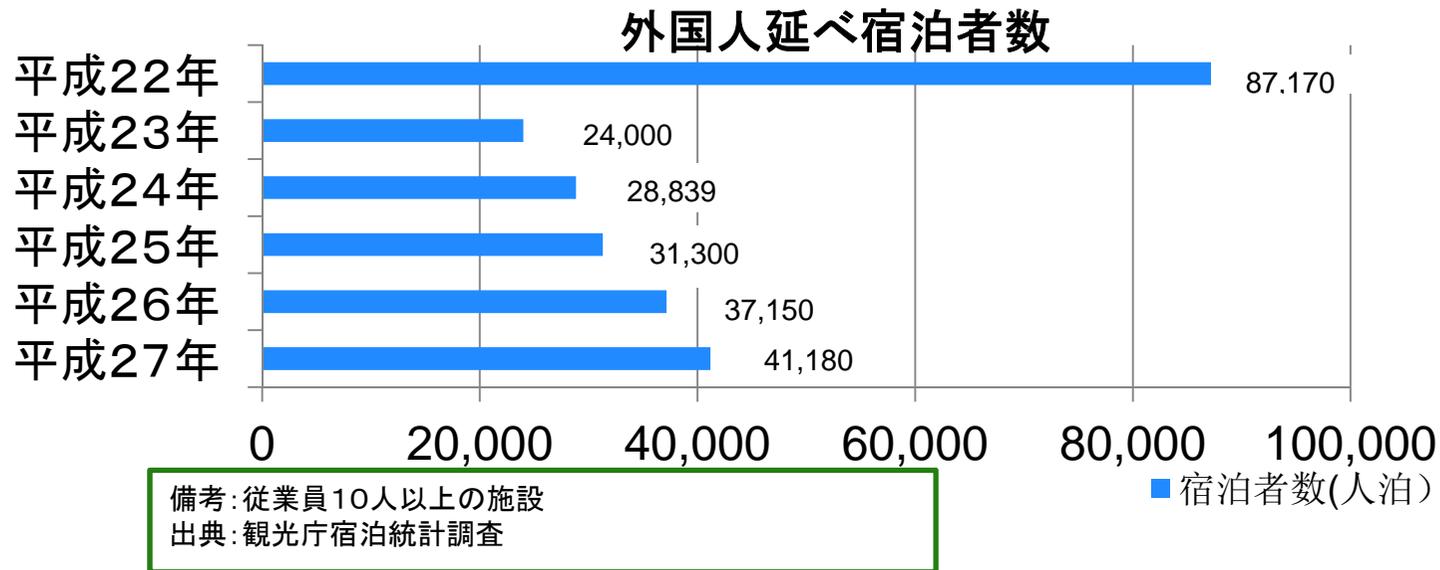
ふくしまの今後の 国際観光について



福島県観光交流局長 橋本明良
平成28年2月14日(日)



外国人延べ宿泊数の推移



● トピックス

- 平成24年 台湾から福島県全域に対する渡航制限が解除される(3月)
- 〃 韓国、香港から福島県全域に対する渡航制限が緩和される(7月)
- 〃 中国に対する被災3県数次ビザを開始
- 平成24年 震災後初となる福島空港ソウルチャーター便が運航される(12月)
- 平成25年 福島空港ソウルチャーター便が7月から12月までの間運航再開(7月)
 - ※ 汚染水流出問題により10月以降のチャーター便運航中止
- 〃 ベトナム・ハノイから初めての福島空港チャーター便が運航される(11月)
- 平成26年 台湾、ベトナム、インドネシアなどからの福島空港チャーター便が運航される
- 平成27年 ベトナム、台湾からの福島空港チャーター便の運航
タイから震災後初となる大型インセンティブ旅行の誘致・催行



福島県国際観光の状況

【強み】

- ・東日本大震災の被災地となった経験による復興ツーリズムなど豊富なコンテンツ
- ・東北、東京、北関東との連携が可能
- ・多様なニーズに対応できる県内の観光資源
- ・DCを通して醸成された地域主体の観光地づくりの気運
- ・CIQ体制のある福島空港

【弱み】

- ・原発事故による風評
- ・風評の固定化と風化の進行
- ・世界的に有名な観光資源がない

【機会】

- ・訪日リピーターの増加によるいわゆるゴールデンルート以外への注目の高まり
- ・訪日旅行者の急増により都市部のホテル等不足による旅行者の地方分散
- ・「地方創生」による持続的観光の促進

【脅威】

- ・インバウンドの急増による日本各地の観光振興策の強化(競争の激化)
- ・福島第一原子力発電所の状況



国際観光関連事業の取組

海外に対する積極的なプロモーションと受入体制の整備

台湾、タイを始めとするASEAN等、韓国、中国各市場それぞれの風評の状況や旅行ニーズに沿った効果的な情報発信、プロモーション、営業活動を展開するとともに、受入体制強化による環境整備を図る。

◆ 27年度事業

(1) タイでの取組

①観光誘客セミナー 95名(57社)

・現地旅行エージェント、現地メディア等

②特に興味を持った現地有力旅行エージェントの招へい

③SNS(Facebook)を通じた現地目線に立った情報発信

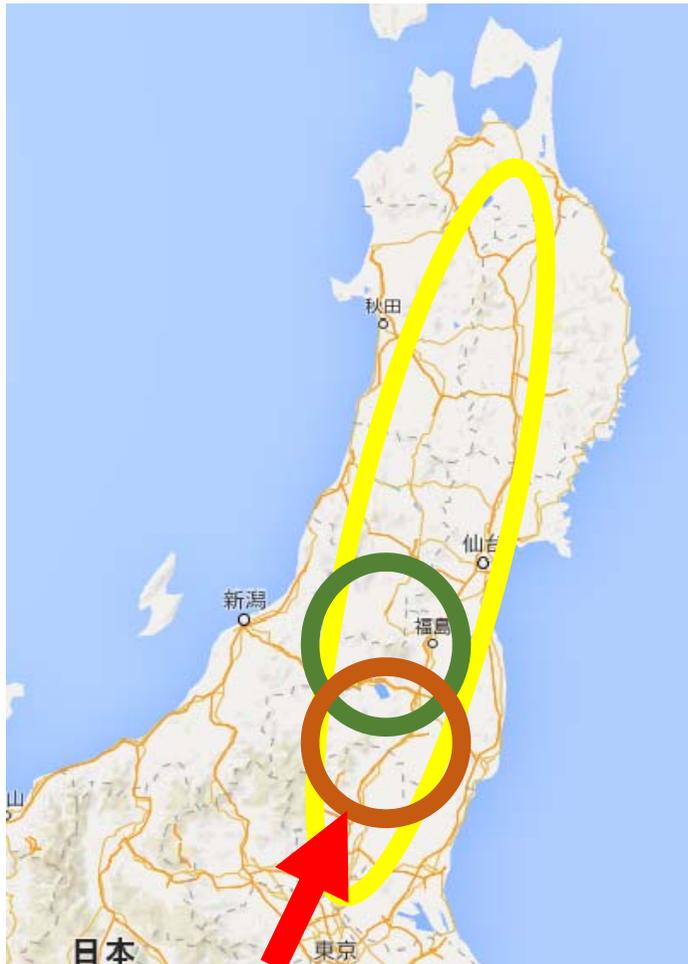
(2) 差別化された素材を活用した情報発信(エビスサーキット(オーストラリア人リピーター)、奥会津の原風景(台湾)など)

(3) 食を活かした取組(会津の伝統食、グリーン・ツーリズム)

(4) 福島特例通訳案内士の育成・活用、人材育成講座による海外からの誘客に向けた意識改革



福島県国際観光の今後の展開



今後の取組

- 東北、東京都、北関東との連携による観光誘客の促進
- 各地域、各事業者との連携のもと国別、旅行形態別プロモーション戦略の展開（海外情報拠点の整備等）
- DMO、市町村、民間事業者と連携した受入体制の整備
- 空の玄関口として福島空港を利用した観光誘客の促進
- 国等と連携した風評風化対策（正確な情報発信等）



多くの観光客が訪れるふくしまの創出